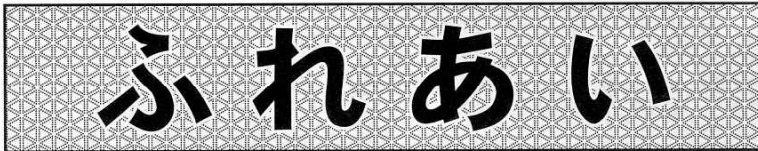


下紺屋町分館報

発行所／下紺屋町分館
責任者／日尾嘉男



幸せな明るい人生 !!
町民は共に生きよう
ふれあい健康人生 !!

笑顔であいさつやさしい町



第11回ファミリ
ービーチボール大会 優勝
第17回ビーチボール大会 準優勝
第32回西部公民館運動会 第3位

震災・原発・放射能汚染・節電と激動の平成23年も年末に近づいてきました。分館長に携わり年月も終りに近づいて来ました。祇園祭を始めとする祭りなどの伝統行事、文化イベント・大会参加。分館スタッフ自治会役員様等の御協力のおかげで、好成績のうちを終了する事が出来ました。また青少年育成成人権教育も担当のガンバリで一年間終える事になりました。特にPTAの親御様、各種団体、



分館活動の一年

分館長 日尾 嘉男

この様に、日本人としての誇りから、忍耐強さ、争い事を好まない、他人への思いやりが如実に表れたのではないのでしょうか。欧米諸国では、大きな災害があると、暴動が起き、略奪行為が当たり前の様に起こっているのに、全くありませんでした。



一年を振り返りかえって

自治会長 腰原 一文

我が町では、昨年被害を受けた、水害の復旧工事は、残すはあと少しとなり、現在進められている、この工事も来年3月には完了すると思われます。今年一年、自治会活動を思い返すならば、1月1日の新年会を出発点に、その後の活動に邁進し、残す行事もあと少しとなりました。これも偏に皆様方の協力の下、本年度の理事、分館役員の方と力の結集の賜物と思っています。本年度で4期目の自治会長となりましたが、皆様方が自治会に対する思いは、非情に強いと感じております。ともすれば、マンネリ化しやすい自治会活動が、

同好会等皆様方の御協力に感謝いたします。特に祭りを始め、参加要請に協力をお願いした町内の「若い衆」の参加は次世代の担い手でもあり、自治会内の活性化の源となる事と思えます。そして、分館運営の根源であるとも思えます。一年間の御協力大変ありがとうございました。今後とも、皆様にはなお一層の御協力お願い申し上げます。



新鮮に感じられるのは、皆様方の叱咤激励だと思えます。特に、叱咤がマンネリを防いでくれたと思います。下紺屋町は行事が非情に多く、市の中でもトップクラスではないかと思えます。しかし、分館活動の中の文化系サークル活動は弱く、先細りが続いている状態です。他機関と協力しながら、楽しいサークル活動を進め新しいサークルを結成することが、更なる下紺屋町の活性化につながるのではないのでしょうか。最後になりましたが、一年間の活動を、皆様にご感謝しながら挨拶に代えさせていただきます。

公民館事業と役割

分館主事 丸尾 信夫

公民館事業は住民の自主性を重んじ、住民の民主的な運営によって成り立っております。社会教育活動を推進する中心的な組織です。事業を通じて教育を高め、健康で豊かな社会を実現することを目的としているのです。公民館はそのための事業を行う施設です。住民が自分たちの地域をどうしていくか考える教育施設。お互いに尊重し協力しながら住みよい地域づくりを進めましょう。地域の人々の顔を知り、交流し合って連

帯感を育てることが必要です。

ただ単に行事に参加しているのではありません。子どもから年配の方まで行事を通して世代を超えた交流を重ねることが私たちの下紺屋町を活性化し予測不能な事態が発生した時でも助け合う土壌づくりにつながるのではないのでしょうか。参加することで、人とのつながりという自らの貴重な財産を増やしてみませんか。

子供育成会

会長 児玉 嗣夫

本年度の育成会活動も残り3ヶ月になりました。4月から始まった西部公民館主催の各種スポーツ大会、自治会及び分館主催の行事、さらにはPTAの活動と幅広く子供達に参加して頂いた事と思います。

育成会活動と言いましても、以前の活動の様に独自の取り組みをしている内容は減りました。他の地域の様子をみますと、年間を通じて野球・サッカー・バレーボール・ビーチボールなどを行っている地域も沢山あります。ここ西部公民館地区において、塩尻小学校地域では、年間又は数ヶ月

単位で運動や文化活動に取り組まれています。

わが西小学校地域では、子供数の減少と平行して取り組まれる地域も少なくありません。

下紺屋町育成会の方向としては、今後の活動内容もほぼ現状と変わる事は無いと思います。

是非ともPTAのお父さん達は、自分自身の思い出作り、我が子供達の思い出作りの為にも積極的に下紺屋町の行事に参加して頂くことを希望します。そして積極的に役員などのお手伝いもして頂ければ幸いです。



わが街下紺の子供達

西小PTA支部長 萩原 典江

ここ数年は雨で中止になっていた「ゴミ運動」。

今年朝から晴天。この日は、ファミリービーチボール大会と重なり朝から忙し

いはずなのに、ほぼ全員の親子が集まりました。二手に別れ、わが町をキレイにする為ゴミを拾って歩いた。

何だか皆、どことなく楽しそう、ある子は「あつ、ここにもある。ほくが先に見つけたんだぞ〜」また別の子は、道を逸れて草の中まで入り、ゴミ拾いに夢中。そして、最後は全員で八幡神社をキレイにした。沢山のゴミが集まりました。お疲れ様でした。さあ、ファミリービーチ。優勝めざして頑張ろう。見事、

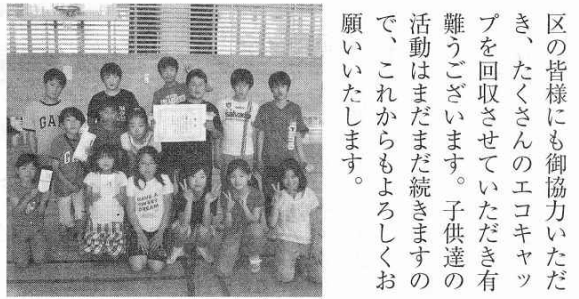
エコキャップ運動

三PTA支部長 杉田 理恵

上田市立第三中学校では、エコキャップ運動がさかんです。エコキャップ運動とは、ペットボトルのキャップを回収して再資源化事業者に販売し得られた売却益の一部を開発途上国の子供達へのワクチン代として寄付する運動です。私も保護者として微力ながら協力するように思ったことは、「関心を持つことの大切さ」です。当たり前のように捨てていたエコキャップ、たかがエコキャップ、されどエコキャップ。各クラスが目標を持ち、一つ一つの積み重ねにより形になっていく。関心を持ったからこそ出来る活動です。私も子供達の頑張る姿をみて、関心を持ち少しでも協力が出来るように取り組んでいます。

毎月の資源回収では、地初優勝をかざる事が出来ました。きつと、八幡様が導いてくれたのでしょうか。今も頑張った子供達の姿が脳裏にやきついていきます。

最後になりますが、自治会の皆様、いつも子供達を見守り、沢山の思い出を作ってあげようと第一に考え下さり、心より感謝申し上げます。そして、この下紺で皆様と出合い、活動できた事を厚く、お礼申し上げます。



西部運動会

六年 荒井 健太

運動会で、下紺は三位になりました。優勝をねらっていたのに残念でした。

ぼくは、三種目に出ました。「どっちに行くの？ふらぶら」は、ゆがんだボールのドリブルが上手にできなくて、五位でした。

「水を大切に」は、難しそうだったけど、おちついてやったら、いっぱい入りました。ピンの細いところになると、他のチームが気になって、急げ〜と思いました。一番に下紺のピンがいったいになり、ガッツポーズをしました。うれしかったです。

「リレー」は、アンカーを走りました。半周近く差をつけて一位でバトンをもったのに、ゴール直前で



二人にぬかれて、三位になってしまいました。短距離で、一周以上も走った事がなかったの、ヘトヘトでした。一生けん命バトンをつないでくれた五人に、悪いなあと思いました。来年は、中学生ですが、機会があったら、出たいと思います。



上田めぐしよ

六年 成澤真子

私はこの地区にひっこしをして小学生最後の上田めぐしよいをこの地区で出ました。周りはいつもとはちがう人達。少し慣れないじょうきようだったので、みなさんが気軽に話しかけ



てくださって、自然と笑顔がこぼれ慣れました。いざ商店街にいくと、しんせんな空気になるました。周りには新しい人々、いつもとはちがう風景…。そのおかげで楽しく、そんなにつかれずおどれました。別に前の地区がつまらなかつたというわけではないのですが、ちよつとちがう感じが、よかつたのでしよう。帰りも、友達、そのお母さん方、お父さん方、地区が同じ方といしよにさまざまな話をしました。私は、よそから来た人と思われ、したしみにくいのかもしれないと思つていたのですが、安心してました。もうすぐで、卒業してしましますが、それまで、色々な行事に参加し、地区長としても、ガンバリたいです。

心に残る一番

体育部長 渡辺 敦

私の中で一番の思い出は、5月22日に開催した「ファミリービーチボール大会」です。

我が家は下紺の練習試合ですら一度も勝つた事もなく全く良い処なしのダメチームです。

「下紺のお荷物。あやうい家族」として周囲の人々は、おそろく一勝すら出来ないと思つていたと思います。

一回戦目家族全員ドキドキしながら試合開始、苦戦しながら相手チームのミスも有りなんと一勝出来ま

素敵な高齢者

民生児童委員 田中 祀子

高齢者宅へ乳酸飲料をお届けしながら「お褒りないですか」と訪問を始めて五年、お訪ねする先でも体の大変な人が増えているのは致し方ない事かも知れません。そんな中でも奥様と支え、互いに労わり合いながら暮しておられるMさん宅に何う度にお二人の姿が微笑ましく、温かなものを頂いて帰ってまいります。こんな御夫婦はこの町にはまだ沢山おられますね。又、こんな方も。今年96歳になられた独居者のTさんは、今 大腿部を骨折され二ヶ月入院。歩行器がないと歩けない状態で退院されなが

した。気付けば下紺のみんなが、私達のチームの応援をしてきています。一勝も出来ないと思つていただけに勢い付いてトントン拍子でその後は勝ち進みま

最終試合両チームが1セットづつ点を取りもう後がありませんが、汗ダクになりとても疲れましたが、後をふり向くと下紺の大応援団と他の町の知人友人の応援の大歓声、嬉しいやら恥ずかしいやら。お陰で全勝する事が出来ました。又下紺優勝の一翼を担う事が出来て本当に良かったと思

ら、家の中の事は掃除以外は全てやるという頑張り、時にはヒヤツとする事もありました。今は通所介護施設を行い、とても楽しいと話される。隣に泣いている人が居ると、やさしく声を掛けたり、職員さんにも感謝されている様子に、たとえ体が不自由でもすこやかな心で前向きに生きておられるTさんに私自身勇気を頂いている。

介護予防の話

大樹会会長 中沢 良精

9月6日西部地域包括支援センター長の石谷由紀子先生をお招きして、介護予防についてのお話をお聞きしました。

「介護予防とは、できるかぎり介護を必要とせず、いつまでも元気に生き生きと過ごせるように、元気がうちから心身の衰えを予防・回復しようとする取り組みです。」

介護サポーターも5名来られ、城北地区の山岸先生他からのご指導では、風船

女性学級の活動について

青島 玲子

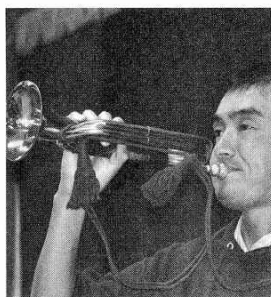
暑かった夏も一段落、仕事に、趣味の活動にと、良い季節になって参りました。女性学級では、毎月一学習を目標に活動しております。強制ではなく、あくまで自由参加です。今年、外部から講師を招き、和菓子作りをしたり、外部施設を利用して、毎年好評のケチャップを作ったりしました。又折り紙、編物、料理、

・お手玉・歌・新聞紙を活用した運動で、知らぬ間に筋トレやリズム感を養いました。西沢市議からは介護予防のパンフレットを通して口腔の状態は全身の健康に関係するから嚥下体操等すると効果的だと教えられました。

30名程の参加者が、笑顔いっぱい楽しんでとてもよかつたです。現状ではとかく自分の運動不足を自覚こそすれ、解消への努力をしていません。筋肉を伸ばしたり縮める一連の動作でよいのです。少しでも体を動かしましょう。

パッチワークなど、会員同志、互いに得意な事を教え合い、わきあいあいと文化祭に向けた作品作りにも、精を出しております。活動日は、お茶を飲みながら、親睦を深め、たのしいひとときを過ごしております。活動の一環として、地域のお役に立ちたいとの思いで夏祭り後に、公会堂の座布団の洗濯をさせていただきました。

女性学級に興味をお持ちの方、一緒に活動してみませんか。一同大歓迎です。



商工振興会

菊池武則

下紺屋町商工振興会は、上田市の「地域経済活性化事業補助金」を活用し「信州上田下紺ネット」としてホームページの公開をいたしました。

会員企業の紹介のみならず、下紺屋町の歴史から自治会・分館・伝統行事・各種団体の活動紹介等を掲載し町の情報発信並びにコミュニケーションの場としても活用していきたいと考えております。ご意見、ご要望等ありましたらお寄せ下さい。

<http://www.shimokon.net/>

紳士のスポーツ ゴルフ同好会

石巻一男

ゴルフはイギリス発祥と言われていますが、ルールブックの第1章はエチケツトとされており、コース上での心得・他のプレーヤーに対する心くばりがまず規定されておりあります。あるがままに球を打つという単純なゲームの中でプレーヤーが自ら律し審判もつとめなければならぬ紳士のスポーツとも言われています。下紺屋町ゴルフ同好会は平成元年にスタートし、毎年春・秋にコンペを開催しています。ハンデキャップ

祝！初優勝！！

シボル同好会 市村俊一

西部地区10チーム相手に今年も全試合を戦い終えしました。昨年はリーグ戦三位、トーナメント準優勝と結果を残せましたが、未だ優勝を手にした事はなく、今年こそと気合を入れ昨年同様三月よりほぼ毎週練習を行いました。

結果、春・夏のリーグ戦は八勝二敗で準優勝、秋のトーナメントは優勝。ついに念願の初優勝を手にする事が出来ました。

荒井監督・丸尾信夫キャプテンをみんなで胴上げし喜びを分かち合いました。みんなで勝ち取った優勝は最高でした。

毎週練習を行い、毎試合念入りに反省をし、チーム制なので老若男女、上級者も初心者も一緒に楽しめる大会です。また、プレー終了後は下紺屋町まで戻り、町内の居酒屋さんで表彰式を開催します。いわゆる一九番ホールで、好プレー・珍プレーに酒の肴にゴルフ談義に花が咲きます。春・秋の一方は土日に、もう一方は平日の開催となります。

ワークで勝ち取った結果だと思えます。リーグ戦での二敗をなくすべく来春よりさらに練習を重ね、来年こそW優勝目指し、チーム一丸となり戦いたいと思えます。

ちなみに、昨年同様上田市の大会にも二回出場しましたが、二大会とも一回戦負けと残念な結果でした。(下紺チームは夜行性?)

下紺チームは会員を常に募集しています。ソフトが好き、スポーツが好き、祭りが好き、酒が好き、甘い物が好き。そんな方は是非一緒に戦いましょう。

いい大人が少年の様に一生懸命白球を追いかける姿が私は好きです……。



下紺ビーチボール同好会

中村泰子

私たち下紺ビーチボール同好会は、毎週土曜日の夜西小体育館で練習をしています。

会員は、男性8名女性8名です。子育て真っ最中の方が多く、なかなか全員が集まる機会がありませんが、参加できる方たちで毎週いい汗を流しています。

上田市のビーチボール協会の大会などに出場していますが、成績は関係なく、「参加することに意義がある」をモットーに頑張っています。

先日開かれた、西部地区のビーチボール大会も準優勝で終わり、負けず嫌いの会員の中では早くもリベンジに燃え、練習に励む姿がみられます。

とはいえ……。楽しく練習していますので、下紺屋町のみならず、お気軽に参加してみませんか? 会員みんなで参加を待ちしています!!

巴会

佐藤好彦



昨今は諸事情により夏祭りの規模を縮小せざるを得ない自治会がある中、当自治会では例年通り祭りを盛大に行う事ができました。これも自治会員の皆様のご理解があつてこそと感謝申し上げます。また、本年度は当会の活動を県の「地域発元気づくり支援金事業」に採用して頂き、それにより念願だった旧北国街道沿い(柳町通り)を会場とした夏祭りを開催し御輿を挙げる事ができました。

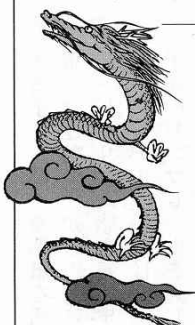
参加して頂きました町内の方々へ元より、当日会場となりました柳町自治会を始め、協働して御輿を繰出して頂いた上紺屋町自治会の皆様には準備段階から絶大なご協力をありがとうございます。

◆編集後記◆

皆さんが分館報を読まれる頃は、今年の年の瀬です。どんど焼きに初まり文化祭まで無事に終了する事ができました。

今年の分館報は、年中行事の写真を集めページを増やしてみました。来年も継続して行く方向です。来年以降も沢山の行事が予定されています。皆さんの思い出となる様に写真に納めたいと思います。お気軽にご参加して下さい。最後に分館報に寄稿して頂いた皆様、文化祭に出品して頂いた皆様にお礼を申し上げます。

田口賢司



年中行事の1コマ



